

新聞會

第三十五号

神戸新聞第廿七号か同所弁天濱三居留
 する英國人セエテラ氏妾と外一婦
 都全三人連て五月廿三日の夜栄町五丁目より海岸通へ
 行掛る小向陽丸器械方小林吉五郎是れ三人連て行き
 達の節誰一人と女の首と指合しとテラ氏
 兇咎めて争論成一人の首と眼玉の飛出る事あり
 打倒すあも三人テラと向ひ掛れが不可
 しく逃出すを追詰られて詮方なく腰も鉄砲
 ニ三發ふんいと放りたる二人驚き
 立すくむ其隙に弁天濱なる器械場
 逃入り兩人ハ遺骸かぎり立帰る小
 島の冒彼妻を捕居しを確証し討出か
 テラ氏より小堂ニカ紙を受金子
 落させしむく討へたり其落着
 ハ合しぬと双方共つらう出来
 たる事共思はれず
 宣慎まざるべけん也



八廣堂
 榮

